

経済学委員会数量的経済・政策分析分科会（第26期・第6回）

議事要旨

1. 会議名 経済学委員会数量的経済・政策分析分科会（第26期・第6回）
2. 日時 令和8年5月24日（日）12時00分～13時00分
3. 会場 大阪公立大学杉本町キャンパス8号館81A教室及びオンライン会議システム併用のハイブリッド開催
4. 出席者（対面）臼井 恵美子、宇南山 卓、小原 美紀、中村 さやか、福元 健太郎、福重 元嗣、（オンライン）西山 慶彦、石井 利江子、岩城 秀樹、大森 裕浩、川崎 能典、塩路 悦朗、高槻 泰郎、早川 和彦、豊田 哲也、松尾 美和（計16名）
5. 議題：
 - （1）今後のチュートリアルセッションの開催について
 - （2）政策ニーズへの対応について
 - （3）その他

議事録

（1）チュートリアルセッションの開催について

日本経済学会2026年春季大会におけるチュートリアルセッションは、浅古泰史先生（早稲田大学）に「数理政治学への「再」招待：現状と実験室実験の可能性」と題して実施して頂き、活発な質疑応答も行われたことが報告された。

日本経済学会2027年春季大会（2027年5月29日、30日、同志社大学）におけるチュートリアルセッションについては、AIを使った経済学研究について、川口康平先生・香港科学技術大学にお声かけして依頼することが確認された。

（2）政策ニーズのヒアリングについて

宇南山委員長より「政策ニーズの把握」のための「政策立案参加希望経済学者リスト（仮称）」の整備について提案がなされた。経済学およびその関連分野の研究者のうち、政策立案・評価・助言に関与する意思を持つ者を可視化し、政府・地方自治体・国際機関等が政策パートナーを探索しうる基盤を構築することを目的とする。政策現場からのニーズをヒアリングする機会を創出し、政策ニーズ

と研究シーズの双方向の把握を目指すもので、経済学者の登録方式、公開範囲などについて意見交換がなされた。

まずは自薦型のリストを作る準備作業を宇南山委員長が進めることが確認された。

(3) その他
特になし